

市指定史跡「千葉山」の確認調査結果について（報告）

市指定史跡「千葉山」の確認調査結果について、下記のとおりご報告します。

1 文化財概要

- | | |
|-----------|----------------------|
| (1) 所在地 | 千葉市稻毛区園生町 444-1 の一部他 |
| (2) 指定年月日 | 昭和 56 年 7 月 20 日 |
| (3) 所有者 | 金蔵院（稻毛区園生町） |
| (4) 史跡概要 | |

『千葉大系図』に記載される、千葉介常胤を葬った「千葉山」とされ、千葉宗家累代の墓所と伝えられる場所である。

現在、稻毛区轟町の大日寺にある 16 基の五輪塔は、かつてこの地にあったとされ、寛文 10(1670)年に千葉村の人々によって大日寺に移されたと伝えられている。

なお、大日寺は戦災によって現在の地に移転しており、以前は中央区院内の千葉神社向いにあった。

明治 39(1906)年、安川辰蔵による調査で、星宮塚の他、南北約 180m にわたって直線に並ぶ 13 基の塚が確認され、現在は星宮塚を含む 5 基の塚が残存している。

2 調査概要

- | | |
|---------|--------------------------------|
| (1) 実施日 | 令和 7 年 3 月 17 日（月）～3 月 27 日（木） |
| (2) 目的 | すでに消滅した 4 基の塚の痕跡と千葉山の成り立ちの調査 |
| (3) 結果 | |

千葉山が所在する一帯は、千葉県の遺跡地図では、勝田台古墳群として円墳 5 基が登録されており、千葉山が古墳を改変したものか、また、すでに消滅した塚の痕跡を調べるためにトレンチを 4 か所設定し、重機で掘削後、人力で清掃した。

その結果、塚の痕跡は確認されなかった。また、周溝、主体部などの古墳にかかる遺構は確認されず、遺物も出土しなかった。



1 トレント（西から）



2 トレント（北から）

